

暑い夏は余韻を残しつつ次の季節にかわろうとしています。さて、作品づくりとは試作の繰り返しではないでしょうか。その過程で何らかの光がみえ、ある道筋がたつ、というものだと私は思います。日頃は臨書によって線質・字形の鍛練を繰り返し、ベースはしっかり持たれているわけです。この秋は自信をもって作品づくりの迷い道に入り、おおいに独創の世界に浸ってください。必ずや光明がさすことでしょう。

漢字部 条幅課題

A 芙蓉零落秋池雨

楊柳蕭疎曉岸風

(崔致遠)

・芙蓉零落す秋池の雨、楊柳蕭疎曉岸の風
・蓮の花は秋の池に降る雨で枯れてしまい、柳のまばらなものは夜明けの岸の風にゆられている。

B 菊花寒更香

(陸遊)

・菊花寒く更に香し。
・菊の花は寒くなるほど香りが高くなる。

(しめきり)……………十月十七日)

◎条幅出品券を作品の右下へ必ず貼付すること。

なお、作品の裏右下に段位、氏名を忘れず記入のこと。

※出品資格…五段以上。A・Bの両方同時に出品可。

※二点出品の場合、出品券の下部にA・Bを明記のこと。

※用紙は、半切縦か角半。(角半は四月締切分より可)

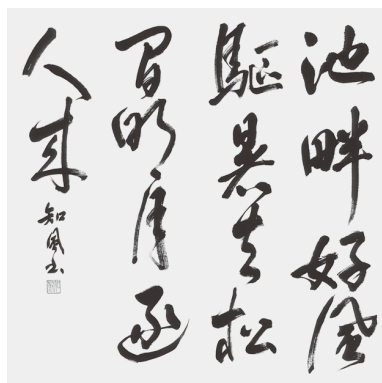
(選評)

師範・準師範の部

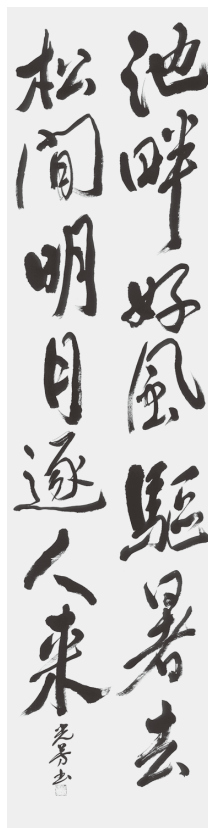
鈴峰君 大胆な構図。強い印象を与える力作となった。
知風君 温和な字形づくり。行間もよく落ち着きある作。
光芳君 一字一字の字形を工夫し、全体を見せ場としている。
亜砂君 粘りある線質・字形で充実した力作。
佳邨君 作品構成の上手さ光る。字間・連綿もいい。



大橋鈴峰



田麥知風



美坂光芳

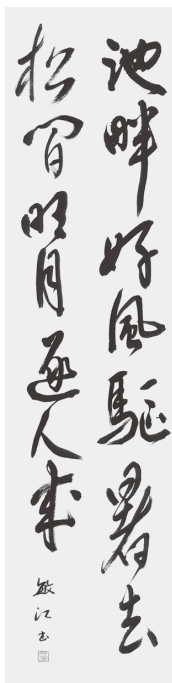


辻田亜砂



梅田佳邨

(助教以下の部)



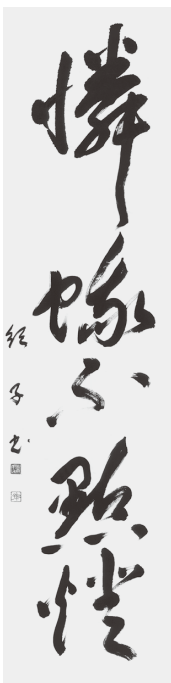
加川敏江



木村恭翠



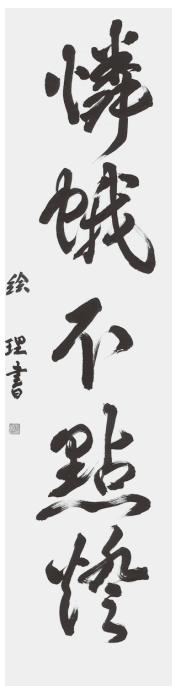
濱伊穂子



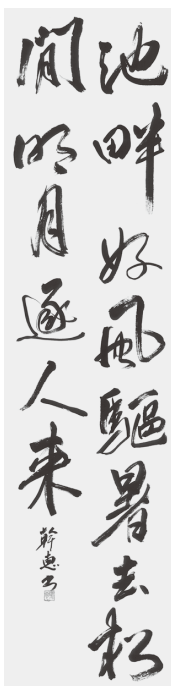
山本紀子



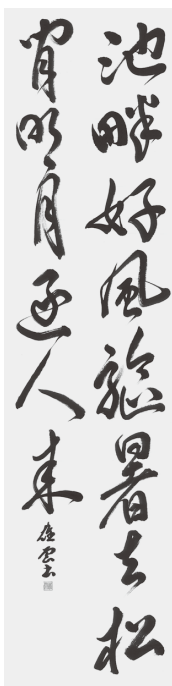
松井明熙



佐藤絵理



田村幹恵



石川雄雲



長村光造



西村昌子